



2023年12月14日発行219号
三浦半島地区委員会公郷 2-1-9
046-851-1123
大村・携帯 090-1107-0498
ブログ [大村洋子](#) →検索



戦争やめて！の声を広げましょう！
イスラエルとハマスの紛争から2カ月半。こどもたちや妊婦さん、高齢の方々など逃げることもできない無抵抗な人々の命がたくさん奪われています。

許せません！

国連でも「即時停戦」の意見が広がっている中で、アメリカが拒否しまとまりません。このような時こそ憲法九条を持つ国、唯一の戦争被爆国として日本はもっと強く世界に「即時停戦」をアピールすることが必要と考えます。

街頭に繰り出して、思いを一にする仲間とともに、世界の運動と連帯して行動します。



扶養照会、必要ですか？

生活保護世帯に水道減免の復活を！

物価高騰で一番ダメージのある生活保護世帯。多くの利用者から暮らしのやりくりが大変という声を聴いています。

横須賀市には以前に生活保護世帯に対して福祉減免として水道料金等の減免制度がありました。今回の一般質問でその復活を市長に提案しましたが良い答弁はありませんでした。本市の生活保護世帯は約 4,000 世帯で増加傾向です。私はもっとも暮らしが厳しい世帯に速やかに支援することが市政の役割だと考えます。

「少額でもよいので、身内の〇〇さんを支援してもらえませんか？」福祉事務所は生活保護を申請する際に親やこども、兄弟に連絡を入れる手順を踏んできました。「それだけは止めてほしい」と言って怒って生活保護をあきらめる人を私は何人も見てきました。扶養照会が生活保護の大きな壁になっているのです。

厚生労働省は各福祉事務所に10年以上音信不通、高齢で支援が難しいという身内には扶養照会は必ずしも行わなくてよいという通知を出しました。一般質問を通して、本市の福祉事務所は通知を守っていることがわかりました。本人に伝えないで、勝手に連絡をとることもしていないとのことでした。

生活保護の申請は国民の権利です

扶養照会は要件(条件)ではありません。必要な人は誰でも(外国人も住民票のない人も)申請できます。お気軽にご相談ください。窓口に同行支援します。
大村洋子 090-1107-0498

有害物質

PFAS 問題



「大村議員、今回の一般質問でも PFAS の問題を市長に問うたの？」

「はい、実は、海水へ流す前に PFAS を吸着させるための基地内の粒状活性炭フィルターが止まっているのではないかと、「うわさ」を聞いたので、それをストレートに質問しました。」



「それで、どんな答弁だったの？」

「市は防衛省に問い合わせたけれど、米軍は何も答えなかったと防衛省は答えたということでした。」

「なんなの？それ？結局それじゃ、動いているのか、止まっているのか、わからないじゃないの。」

「そうなんです。でも、動いているなら、動いていると思います。答えられないということは止まっているのではないかと疑いますね。」



「それじゃ、また、有害物質の濃度の高い排水が海に流れているということじゃないの？」

「そうかもしれません。なので、日本共産党市議団は直ちに要請文を市長に提出しました。」

「それが右上の写真と内容なのね。」

「そうです。」

「一般質問で市長は粒状活性炭フィルターが動いているか止まっているかは問題ではない。要は排水がきれいであればよい。こんなニュアンスで答弁しました。でも、それならば、排水の PFAS のサンプリング結果を米軍に求めて市民に公表すべきです。」



「そうよね。横須賀市民の健康を考えると、市長の行うことはそこでしょ。」

「市長は在日米軍マターだと言いました。」

「それ、どういう意味なの？」

「PFAS 問題のすべては在日米軍の判断を仰いで対応するという意味だと思います。」



申し入れを行いました

【要請内容】

- ・活性炭フィルターの稼働の有無と公表
- ・稼働停止の場合その理由の公表
- ・稼働の確認ができるまで排水を止める
- ・活性炭フィルター前後の検査と公表
- ・原因究明を引き続き強く求める



市長への要請文を特命参与に手渡す
日本共産党横須賀市議団



「もう、横須賀の米海軍じゃ手に負えないということ？」

「そういうことです。日米地位協定、日米安保が壁になっています。でも、だからと言って手をこまねているわけにはいきません。」

「今、PFAS 問題は全国で血中濃度を調べるなど住民運動も広がっているでしょ。」

「そうなんです。先日も東京都議団の3人の都議が基地の「立入り」について経緯の聞き取りに来ました。」



共産党東京都議団の3都議と大村洋子

「WHO は PFAS について発がん性を認定しました。こんな有害物質を垂れ流すことは許されません。引き続き、議会で厳しく追及していきます。」